

令和6年度学校経営計画書

学校名 三次市立みらさか小学校

三次市立三良坂中学校

校長名 住岡田 幸乃

I 学校の状況

学級数	8	児童数	138	教職員数	20
メールアドレス	mirasaka-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.mirasaka-e.hiroshima-c.ed.jp/				

学級数	5	生徒数	46	教職員数	14
メールアドレス	mirasaka-j@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.mirasaka-j.hiroshima-c.ed.jp/				

II 学校教育目標 スローガン

きらめけ!みらさか☆～地域とともに 未来を創る 人が育つ みらさか～

○学校教育目標

「**自立と共生の力をもち、主体的に学び、課題解決する児童・生徒の育成**」

○学校教育目標達成のために、重点的に育成する【資質・能力】 **「自己調整力」「対話力」「郷土愛」**

III 使命・存在意義（ミッション）

1 保護者や地域から信頼される学校

- 共感的人間関係の中で学び合い切磋琢磨して高め合い、学力を高め、15歳の生徒が進路を実現する学校
- 児童・生徒が「学校は楽しい」「力が伸びる」と感じ、自己肯定感が高まり安心して学べる学校
- ふるさと三良坂を誇りに思い、地域に貢献する児童・生徒を育てる学校

2 市内唯一の「施設一体型小中一貫教育校」の特色を生かした、人が育つ、魅力ある学校

3 広島県の「学びの変革」がめざす姿を具現化する学校

- 生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して、新たな価値を創造する人を育てる学校

IV 重点事項

1 学校教育目標達成のために、重点的に育成する【資質・能力】・・・**「自己調整力」「対話力」「郷土愛」**

2 重点的に取り組むこと

① 【チーム学校による学力保障】（習得）

○学力（基礎・基本、活用力）の確実な定着、向上

- ・授業開始三本柱による学びの構え、聞く姿勢の指導徹底
- ・算数を中心とした教材研究による「本質的な問い」で深い思考を促す授業づくり
- ・小中合同授業研修の実施、日常的な授業交流
- ・授業の「めあて」「振り返り」の充実
- ・授業とつながる家庭学習、自主学習ノート、リレー学習、帯学習等による基礎基本の徹底
- ・みらさかサポーターによる学習支援や昼休憩、放課後学習指導

② 【授業力向上による学力向上】（活用）

○主体的・対話的で深い学びの授業を全教科等で

- ・「もつ」「きく」「ふりかえる」学びのサイクルを全教科・全学年で実施
- ・「振り返り」によって、教科の見方・考え方が深まったことを実感できる授業
- ・教科のねらいの達成のためのICT活用

③ 【キャリア教育を柱としたカリキュラム】（探究）

○自らの学びを調整しながら探究する「探究学習」

- ・地域に生きる人の熱い思いに学ばせ、自己を認識させ、自らの生き方を考えさせる。
- ・中学3年生の探究学習「一人一探究」

～①～③を支える土台として～

○【積極的な生徒指導】

- ・すべての教育活動において、「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の育成」を意識する。
- ・小学校と中学校が強く連携し、生徒指導規程に基づき、自己指導能力を高めさせる。

○【小中一貫教育を推進し信頼される学校】

- ・意図的に中1ギャップを作り、自立した中学校生徒を育てる。中学生を小学校児童の憧れであり、目標とす

る姿とさせる。

- ・小中合同運動会，異学年交流授業，縦割り班活動等，積極的に異年齢交流の場をしくみ，自己存在感を向上させ，価値観を広げさせる。
- ・小中合同学校運営委員会，小中合同分掌会を計画的に開催する。並行して，日常的に，小中の教務主任，研究主任，生徒指導主事どうしが連携する。

○【コミュニティ・スクール（学校運営協議会の実行）】

- ・熟議等を通した育てる力「学ぶ力」「つながる力」「創り上げる力」「郷土愛」の共通理解
- ・家庭・地域と共にある学校の実働により教育効果の向上と業務改善を加速する。